

会 議 録

会議名 (審議会等名)		シビックプライドの推進に関する検討委員会(第5回)				
事務局 (担当課)		観光・シティプロモーション課 電話 042-707-7045(直通)				
開催日時		令和2年8月11日(火) 18時30分~20時30分				
開催場所		相模原市役所 本館2階 第1特別会議室				
出席者	委員	6人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	9人 (シビックプライド推進部長、観光・シティプロモーション課長、他7人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	2人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開 会 2 (仮称)シビックプライド条例に関する意見交換会の結果について【情報提供】 3 シビックプライドに関する条例の概要について 4 市民意見聴取のためのオープンハウスの概要について 5 その他 6 閉 会				

審 議 経 過

第5回会議について、主な内容は次のとおり。

(は委員の発言、 は事務局の発言)

1 開 会

- 2 (仮称)シビックプライド条例に関する意見交換会の結果について【情報提供】
条例に対する市長の思いや、今後どのように進めたいか、具体的なことを聞いた。
意見交換会を踏まえて、学生の意見を聞いてみたいと思い、個人的にインスタグラムで60名程度にアンケートを実施した。結果としては、今後市を出たいという方が約80%であった。「他市と比べて魅力を感じない」、「交通の利便性が悪い」などが主な理由であった。

市長が非常に意欲的であると感じた。条例が制定された後に、理念だけではなく、いかに実態を持つかが重要であり、市長のリーダーシップのもと、いろいろなことが推進できればよい。

市長から「市民に分かり易い条例にしたい」という話があったが、ぜひそのような条例になるとよい。

3 シビックプライドに関する条例の概要について

市民目線の条例とするため、「ですます」調にしたい。また、子どもが理解しやすいようにするため、難しい漢字にはルビを振りたい。例えば、シビックプライドの上に「市民の地域への誇りや愛着」などのルビを振るなど、初めて見て理解できるようなものにしたい。

条例は、総則的規定を中心とし、実体的規定は少なくともよいと思う。

前文については、「押し付けるものではない」ということを記載したい。また、相模原市がシビックプライドを醸成するための基本理念を明記しつつ、市から現在の「相模原ファン」と今後「相模原ファン」になる可能性のある全ての方へのメッセージである、ということを書き込みたい。

各規定や条文については、例えば「目的」ではなく「制定の理由」、「定義」は「言葉の意味」とするなど、市民目線の規定にしたい。

責務・役割規定は、従来の書き方ではなく、例えば「市長の責任」、「相模原ファンへの期待」などでもよい。

条例の規定は、たくさんあっても読み切れないので10規定程度でよいと思う。

条例が、市民にとって、気になる存在であったり、好きになれる存在であったり、そのようなものにするにはどうしたらよいか突き詰めた方がよいと思う。

他の自治体に真似されないような圧倒的な独創性をどう持つかということを考えて方がよいと思う。

例えば、藤野地区にいるアーティスト、または相模原市にいるコピーライターなどの意見を聞いて、細かい部分を作り込んでいってもよいと思う。

条例の概要案では、責務・役割の部分が多い。市側の規定としては、「市長」、「市」程度でよいと思う。

全体としては、前文が大事であると思う。「こんな市にしたい」という市民が共感できるようなものがよい。

外国人の方にもシビックプライドを持ってほしいので、フリガナを振るのは賛成である。

計画の策定が規定されているが、計画の進捗などをチェックする機関を設けることを考えているか。また、一目でシビックプライドと分かるようなシンボルがあるとよい。

庁内の組織体制としては、市長が本部長となっているシティプロモーション推進本部が設置されている。また、シティプロモーションは、行政だけではなく、市民と協働のもと取組んでいく必要があるため、市内の主要な約20の団体で構成するシティプロモーション推進協議会を設置しており、計画が策定された際には、こういった組織で進行管理や評価などを行っていくことを考えている。シビックプライドが一目で分かるシンボリックな物については、現在のところ、具体的なイメージはないが、条例制定の際には、周知することによって市民の皆さんに共有していただくことが重要であると考えており、皆さんに親しんでいただけるような取組を進めていきたいと考えている。

「相模原ファン」の定義について、「もの」と記載されている部分と、「者」と記載されている部分があるが、その違いは。

条例で記載する際のルールで「者」は人を表しており、「もの」は法人や法人格のない団体等を表している。

条例の書き方には、ルールがあるが、シビックプライド条例は市民のためのものなので、あまり細かいルールは気にせずにやりたい。

堅い表現より柔らかい表現がよい。「相模原ファン」という言葉は入れたら良いと思う。資料に記載がある「みんなが一つになれるまち」、「相模原ファンが溢れるまち」を使った定義がよい。

前文をクレド（行動規範）のようなものにしてもよい。

主体者の責務・取組について、これまでの検討委員会では、主体は市民、市、行政区などと話してきたが、資料では、市が主体者で市民は客体者となっているような感じがする。市民の定義としては、居住者や市民活動団体などとあったが、主体者の責務として行政のみが中心的な表記になっている理由は、

委員会では、市民の定義として、広く捉えたいとのことであった。「市内に居住する者」など、個別に記載をすると漏れがあるため、あえて記載しない案とした。

責務・役割の規定としては、「市長」はあった方がよいと思う。「市」の中に市議会議員や市議会、市職員を含めてもよい。行政区については、区毎に特徴は異なるため書き込みたい。「市民」を入れるとシビックプライドを押し付けることになるので、入れなくてもよいと思う。

条例は市のブランディングになると思う。ロゴマークがあった方がよい。

前文をキャッチコピーのようにすれば、ポスターやSNSにも応用できる。市民としても親しみが持てるし、知名度も上がる。

前文に「さがみはらファン」とは、市内外、個人、団体を問わず、相模原市を好きな方であるというようなことを入れてはどうか。独創性を出すというのは難しいと思うが、読みやすさを追求してほしい。

条例名は「相模原シビックプライド条例」とするのか。

まだ、仮称ではあるが、基本的には「相模原シビックプライド条例」という名称になると考えている。愛称があってもよい。

条例が制定された後の市民への周知策は想定しているか。

現在のところ、具体的には決まっていないが、市民への周知に向けて予算の確保などの検討を行っているところである。

今回の条例の概要について、他にご意見などがあれば8月18日までにFAXかメールで事務局に送付すること。いただいた意見を踏まえ、事務局と調整する。

4 市民意見聴取のためのオープンハウスの概要について

オープンハウスで使用するパネル案の題名について、「市や地域への誇りや愛着の醸成」とあるが、市民には分かりづらいと思う。「相模原市は好きですか？」というような興味を持ってもらえるような題名がよい。

多くの方にご協力いただきたいため、題名については検討する。

結果はどこかで発表するのか。

市ホームページで発表する。

回答者は市民以外でもよいのか。

市内外は問わない。回答いただく際に、市内の方が、市外の方がわかるようにする。

使用する筆記用具などについては、新型コロナウイルス感染症対策も必要である。

例えば、筆記用具はその都度、消毒するなど、万全な対策を取り実施する。

S N S を使用してのアンケートもあるが、年齢はどのように集計するのか。

S N S では、年齢の確認が難しい。広く意見を聴取するために S N S を活用したいと考えている。

パネルに意見を書いたシールを貼るようになっているが、他の方がどのように思っているのか、どのような意見があるのかを共有できるだけでも条例の周知になると思う。

オープンハウスによる市民意見の聴取について、実施自体に問題はないので、委員から出された意見を踏まえて実施していただきたい。

オープンハウスについては、9月中旬から開始予定だが、新型コロナウイルスの感染者が増加傾向にあるため、今後、行動の自粛要請などがあった場合には、別の方法で実施する可能性があるので、ご承知おきいただきたい。

5 その他

今後のスケジュールについて、9月中旬までに第6回の検討委員会を開催した後、庁内調整を行い、9月下旬から10月上旬に第7回の検討委員会を開催する。

その後、再度庁内調整を行い、12月に市議会総務部会へ条例の概要説明を行い、市議会3月定例会に条例案を提案する予定。

以 上

シビックプライドの推進に関する検討委員会（第5回）委員出欠席名簿

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	加藤 優季	学生		出席
2	北村 俊明	株式会社 読売広告社 ひとまちみらい研究センター 所長		出席
3	佐藤 鉄郎	一般社団法人 藤野観光協会 事務局長	副委員長	出席
4	高田 泉	公募委員		出席
5	野村 邦丸	フリーアナウンサー ラジオパーソナリティー		欠席
6	長谷川 彩華	公募委員		出席
7	牧瀬 稔	関東学院大学 准教授	委員長	出席
8	山田 康博	公益社団法人 相模原青年会議所 専務理事		欠席